

抗菌、抗ウイルス。化学？ いいえ、植物のちから。



新型コロナウイルスの感染予防対策として
「抗菌」「抗ウイルス」を謳った製品が続々登場し、
世間の耳目を集めています。

化学メーカーも、先を競って新しい技術を開発。
住宅建材から日用品、衣類、おもちゃにいたるまで
幅広く「抗菌」「抗ウイルス」加工が広がり、
安心感が高まっていますね。

そう、「抗菌」「抗ウイルス」といえば
“化学”のイメージ。
最先端の加工技術を思い浮かべるのではないのでしょうか。

でも、「抗菌」「抗ウイルス」って
どういふことなのかよくわかりませんよね。

そもそも「菌（細菌）」と「ウイルス」って
どう違うんでしょう？

いちばん明確な違いは、
「細菌は生き物」であるのに対して
「ウイルスは生き物とは言えない」ということ。

「細菌」は細胞のある生き物で、
自分で移動でき、栄養を取り込んで自ら増殖します。
人に病気を起こす細菌で有名なのは、
黄色ブドウ球菌、大腸菌、結核菌など。

一方「ウイルス」の方は、
細胞がなく、生き物とは言えません。
自ら移動することはできず、
他の生き物の細胞に入り込んで増殖します。
人に病気を起こすウイルスとしては
新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス、
ノロウイルスなどがよく知られています。

つまり、「抗菌」と「抗ウイルス」では
作用するターゲットが違うというわけです。

「抗菌」は、細菌の増殖を抑制する効果。

そして「抗ウイルス」は、ウイルスを不活化させる効果、
つまり増殖する機能をなくして活動停止状態にすること。

日常生活で使うアイテムの場合、
両方の効果が備わっていれば、なお安心ですね。

和紙繊維〈キュアテックス〉は、
「抗菌」「抗ウイルス」の両方の機能を
中立・公正な試験機関によって認められています。

しかも、どちらの機能も
〈キュアテックス〉にもともと備わっている効果で、
後付けの加工による化学的なものではないところが
ちょっとスゴイと思いませんか？

これこそまさに、植物のちから。

衛生的な安心がなにより求められる時代、
その安心も、化学的なものより、自然の方が望ましい。
だから、自信を持っておすすめしたいのです。